

- ・コラム「詩集『心花(しんか)』」
- ・お知らせ(職場体験実習、ふれあいフェスティバル、社会実験)
- ・宿泊研修 2008 報告
- ・市民の皆様からのメッセージ
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

2008年12月 129号

—詩集「心花(しんか)」—

杉浦 良

2001年4月から、太陽と緑の会リサイクル作業所に通ってくるようになった米田君が、第7冊目の詩集「心花(しんか)」を作りました。

2002年、やまびこコンサート20周年記念として、詩集「心実」を作ったのが、彼の詩集作りの始まりです。やまびこコンサート実行委員会は、障害を持つ方々から詩を募集し、それに曲をつけ、コンサートで発表する活動を、長年続けてきました。米田君はその実行委員として活動に参加してきましたが、活動の中心を担ってきたHさんから、詩集「心実」発行の話を持ちかけられました。

「やまびこコンサート20周年記念の1つとして、詩集200冊を作ろうと考えています。5000円出資してくれませんか？1冊200円で、米田君本人に売ってもらおうと思っています。彼が50冊売れば、私とあなたの出資金、それぞれ5000円が返ってきますが、ダメなら彼の詩集が手元に残るわけです。米田君の詩集25冊を、買ったとあきらめてもらうことになるかもしれませんが・・・。他にのる人が、私とあなたしか見当たらないのです・・・。」そうとつとつと語るHさんの姿がありました。そして、ダメもとの計画にのる事になりました。



「ヨネちゃん！私の出資金、ちゃんと返してよ！」と作業所で、彼の顔を見るたびにプレッシャーをかけつつ、初めての詩集の売れ行きを見守りました。「対面販売が基本だよ。僕の詩集、よかったら買って下さい、としっかり相手の目を見てお願いするんだ。1冊200円ですと値段もきちんと行って、自分が書いたと、きちんとアピールするんだよ！」そうハッパをかけること1年余り、とうとう私の元に、出資金の5000円がもどってきました。

「お金、返せてホッとした・・・。杉浦さん、もどってこんど思ってたん違う？」とウハウハ顔の米田君です。「次から、売れたお金は、自分のものになるんだよなあ・・・。」そう言いながら、こみ上げるうれしさに、クシャクシャ顔の彼がありました。

「詩集の在庫がなくなった・・・。なんとかならんの・・・。もう一度出版するのは金かかるし・・・。なあ杉浦さん・・・。なんとかならんの・・・。」毎日、毎日、作業所に来るたびに、訴える目が私に迫ります。根負けして、作業所の作業の1つとして、印刷は私が行い、とじるのは機関紙とじのベテランメンバー、売るのは米田君という計画を立てました。販売価格200円のうち100円は米田君の著作権料として、残りの100円は原材料費を引いて、作業所メンバーの工賃として分配することにしました。Hさんは快く了承してくださり、待望の第2版の発行となりました。

その後は、山あり谷あり峠あり、風あり雨あり嵐ありの、日々日常がありました。

2005年2月末の火災で、詩集「心実」「元太」「芯太」、朗読CD「翔元」のストックと、印刷機が失われました。印刷機は、ヤマト福祉財団から助成を頂くことで、新たな建物は、5000人を超える方々の御支援で、復活することができました。そして火災で焼失した活動の中心拠点を想い、詩集「太陽」が生まれ、新たな建物が完成した喜びを込めて、詩集「心素」が誕生しました。衝撃的でドラマチックな日々から、コツコツ繰り返す日常にシフトし、2008年4月1日、詩集「宗元」が生まれました。2002年、当初200部限定の詩集「心実」が、第2版は500部になりました。2008年、第6冊目の「宗元」1250部が売れ切れ、第2版は1250部の発行となりました。

思えば、波乱万丈の7年間でした。2009年1月、第7冊目にあたる詩集「心花」は1500部の発行です。少し前、自分が生きることによって精一杯だった彼が、傍らでつまずきかけた人たちに、エールを送ります。皆様に幸多きことを、祈っております。

このたびはわたしの詩集をお買上げいただきましてありがとうございます。ありがとうございました。
これをはげみに
かえらまわす
米田太

お知らせ

職場体験実習

11月6日、7日の2日間、国府養護学校（徳島市）から高等部2年生1名が地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所にて職場体験実習を行いました。衣料品の値札付けや新館での作業を体験して頂きました。元気よく挨拶する姿が印象的でした。

11月29日、国府養護学校の学校祭に太陽と緑の会リサイクル作業所所長の小山が出席し、今年当会で実習を体験した生徒さん5人の元気な姿を見ることができました。



太陽と緑の会
事務局・作業所
兼店舗入口の
手作り花壇



リヤカー3000円
12月18日現在販売中

ふれあいフェスティバル

11月30日午前10時～午後2時半、第6回ふれあいフェスティバルが開催しました（於：徳島県立障害者交流プラザ）。県内の障害者地域共同作業所、地域活動支援センター等の利用者、職員、ボランティアなど約250名が参加し、交流を深めました。企画・準備から後片付けまで、当事者が主体となることができた点が、今回のフェスティバルの収穫だったと思います。事務局の皆様お疲れ様でした。

太陽と緑の会リサイクル作業所からは職員2名、メンバー6名が参加しました。当作業所最年少で20才の宇津君は、プログラムのひとつとして、成人式をして頂く事ができました。

社会実験

「CO₂削減！徳島市中心部の通勤交通に関する社会実験」が、11月10日～14日の5日間、産官学の協働のもとに行われました。徳島市内3か所のコミュニティ・サイクルステーションに無料貸し出し用の自転車80台を用意し、主な事業所において自動車通勤・通学者の通勤方法を徒歩や自転車に転換するというものです。太陽と緑の会からもリユース自転車10台を提供させて頂きました。

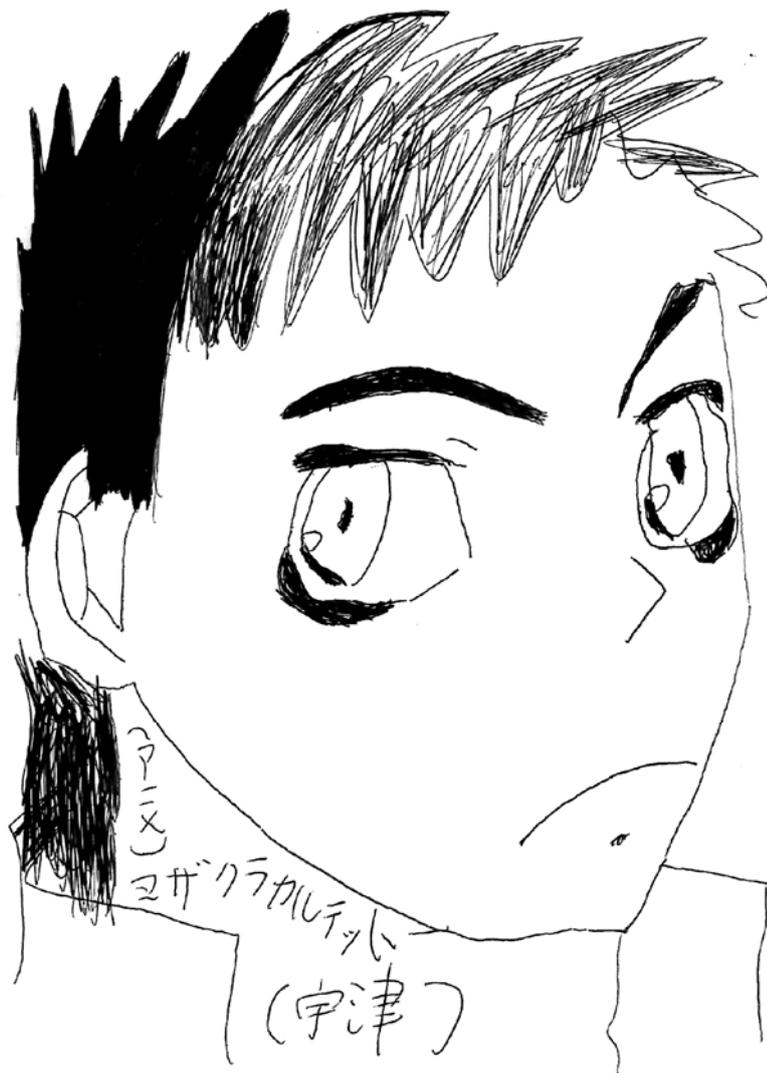


イラスト 宇津君

講演・プレゼン

7月30日午後1時半～4時 シンポジウム 障害者の地域生活を支えるサービス事業者のあり方を考える（於：香川県社会福祉総合センター）代表杉浦がシンポジストとして出席

9月25日午後3時～4時45分 徳島市特別支援教育中学校区別研修会（於：徳島市昭和小学校）杉浦が講師として出席

11月18日午後1時～4時半 社会福法人ハートランド街の中の喫茶店あっぷるリニューアル記念講演会 代表杉浦がパネラーとして出席

11月21日午後1時～2時半 平成20年度徳島県婦人団体連合会活動発表大会（於：徳島県立総合教育センター）杉浦が講師として出席。

12月7日、第2回ストップ温暖化「一村一品」大作戦 阿波のCO₂削減コンテストが開催され、県内のNPO、事業所など13団体が参加しプレゼンを行いました。審査の結果、ごみゼロ阿波踊り実行委員会の取り組みが最優秀賞と決定しました。

太陽と緑の会は最後に、昨年度の最優秀賞団体としてプレゼンをさせて頂きました。

宿泊研修 2008 報告

平成 20 年 12 月 8 日 (月) ～ 9 日 (火)、財団法人徳島県福祉基金より「小規模作業所利用者社会参加促進事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を行いました。研修の参加者は様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計 28 名です。

今回の研修では、資源ごみの分別及び防災活動についての見識を深めることを目的として神戸市資源リサイクルセンター及び北淡震災記念公園の見学、社会参加の一環として須磨海浜水族館の見学を行いました。

12 月 8 日、41 人乗りの貸切バスで 2 時間かけて、神戸市西区のこうべ環境未来館に到着しました。経費節約のため、昼食は手作りのおにぎりとなりました。

案内をして下さったのは、同館の運営を委託されている「NPO 法人社会還元センターグループ わ」の西尾さん。シルバーカレッジで 3 年間学んだ方が様々なボランティア活動を行っているとのことでした。

神戸市資源リサイクルセンターは設置して 4 年半の新しい施設で、神戸市民 154 万人が排出する缶・ビン・ペットボトルが混ざった状態で集められ、機械選別及び手選別によって、アルミ缶、スチール



神戸市資源リサイクルセンター

缶、ペットボトル、カレット（無色、茶色、その他色など）などに分別されます。ピットから受入ホッパまでクレーンを操作する様子を、メンバーも間近で見ることができました。手選別の工程では、知的ハンディを持った人が作業を担当しているとのことでした。

夜はシーパル須磨に宿泊、翌朝はホテルから海岸沿いに約 10 分歩いて須磨海浜水族館まで行きました。イルカライブなどを見学し、午前 11 時 30 分に水族館をバスで出発、午後 12 時 30 分、淡路島北部の北淡震災記念公園（野島断層保存館・震災体験館）に到着しました。経費節約のため、昼食は 1 食 500 円の弁当としました。

野島断層保存館では、14 年前の阪神淡

路大震災で地表に現れた国指定の天然記念物「野島断層」や断層が横切る民家を、当時の状態で保存・展示しています。地震直後の様子を再現した台所や被災した子供たちの作文を、食い入るように見つめているメンバーの姿がありました。

また震災体験館では、同震災の震度 7 の揺れを実際に体感することができました。

午後 3 時 40 分に太陽と緑の会リサイクル作業所に到着し解散しました。

研修旅行で四国から外に出るのは、太陽と緑の会 24 年間の歴史の中で初めてのことです。作業所の利用者にとっても、今後作業に取り組んで行く上で貴重な社会経験を積むことができたと思います。

（文責：小山）



野島断層保存館

市民の皆様からのメッセージ

ここ 太陽と緑の会さんは すごく好き
です。
が 家が非常に遠いため なかなかこ
れませんが
なんか またきたいな と 今日初めて
思えました。
障害者自立支援法がいわれ始めて 今年
の4月で2年でしょうか
3年だったかいな？ みんな大変です
その中で みんな 頑張っています 私
も その中の小さな1人です。
ちよつとずつ ちよつとずつですが 太
陽と緑の会さんだけでなく 他のところ
Aさん 他センター 3障害のみんなへ
ありがとうと
どうかこれからよろしくお願ひします

こんにちは
おひさしぶりです。
毎回「かわら版」を読むのが楽しみです。
はじめては、2002年の8月と思います。
ずっと箱においでいます。今度はどんな
こと書いているのかな〜って思って楽し
く読んでます。みなさんのがんばってる
のも、よく伝わります。 自分も「か
わら版」読んでたら元気をもらえます。
できるだけ読ましてもらおうつもりです。
今後とも、頑張って夢をひろげていっ
てください。
お体大切に……



まつうた
まつということ
人をまつということ
それは、時がかかるといふこと
まつということ
ただまつということ
それは、人がからむといふこと
まつということ
今をまつといふこと
それは、祈り、それはただ
祈るといふこと
まつということ
ひたすらまつといふこと
それは、この場所であれかの
ことを祈るといふこと
まつということ
長い時間まつといふこと
それは、心から祈り
それは、心から祈る
それが一つの行いといふこと
とどけ あなたに
ひびけ あなたに

米田 太



米田 太 (よねだ ふとし)

昭和50年(1975年)徳島市生まれ。徳島県立ひのみね養護学校卒。
平成13年4月より、正式に太陽と緑の会リサイクル作業所のメンバー
となり、現在に至る。これまでの著作に、詩集「心実」「忬太」「元太」
「太陽」「心素」「宗元」朗読CD「翔元」がある。
今年、新たに朗読とギターのコラボレーションも開始。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2008年10月1日～2008年11月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

高瀬、橋本、鹿児島、匿名、島田、島田、堀渕、後藤礼子、元木、内本、三好

不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○井上、高橋、粟飯原、森、小川、斎藤、三好、森下、岩佐、島田、塩津、新井、大下、野々瀬、国分、阿部、富永、北野、瀬川、藤沢、井口、井内、山川、長野、橋本、塚井、坂部、佐藤、上原、野崎、長谷川、多田、岡田、杉山、貝出、近藤内科、坂東、諏訪、美馬、藤井、坂本、佐々木、山本、吉田、平野、花野、黒羽、山崎、林、太陽堂薬局、渡辺、ファミリーマート、蓮華寺、水口、椎野、福田、柴田、中尾、横田、氷川、讃岐、金野、松崎、是安、鎌田、田村、小倉、川原、藤岡、乾、木村、宮城、後藤、森西、安永、杉本、ナカイ徳島店、児島、雲財、小林、はまれ建設、梶原、サーパス文化の森、西、木下、清水、石田、松前、広瀬、大坂、小木曾、鈴江、川又、高畠、平土、スイング理容店、笠井商店、四宮、妹尾、峰田、川田、武市、塩田、ビル、古川、ワークスタッフ、生田、岡山、寺尾、鈴木、森本、前川、市川、柿原、久住、後藤田、寺本、前川司法書士、稲岡、広田、稲井、川島、大浜、国府小学校、原山田、江川、飯谷、昼間、うどんのやす川、町田、伊沢、原田、すみれ会支援センター、賀好、大櫛、吉岡かん魚園、岩見、西村、穴吹コミュニティ、ハートランド、桑原、吉富、流らっかせい、まなご、岸、長町、加賀美、岩野、岡野、土佐、増田、十川、米村、岡、蜂須賀、カトリック教会、龍光堂、井沢、三岡、河野、岸本、納田、白根、朝川、山上、岩佐、新野、みなと食堂、藤永、谷田、つつみ、坂井、佐尾山、清家、盛、横山、昭和小学校PTA、県立かんご学院、野口、遠藤、吉崎、鎌倉、高瀬、山尾、斉木、関本、八巻、吉岡、勝瀬、吹田、高志、割石、小野、尾崎、宮崎、源、相原、結城、久米、田口、福岡、上田、野中、藤川、西條産婦人科、伊藤、田中電気、勝浦、石塚、矢部、坂本、カフェそら、大塚歯科、四国公ほう社、松本、横山商店、山下、国府書店、美保、内山、佐古小学校PTA、西條、鹿児島、田村、○石井町○矢田、尾池、桜井、松本、露口、大西、長井○吉野川市○西川、奥本、松下、谷、角、住友○北島町○市原、長尾、上野、吉田○小松島市○山下、近藤、井内、楠○藍住町○阿木、玉有、小野、阿部、内山○鳴門市○岩生、秋山、久龍、林、米田、興和アシスト株、土井、阿部○石井町○原田○松茂町○横関、高橋、松平○板野町○岡本、片岡○阿波市○高橋○上板町○山畑

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○井上、大島、植田、中尾、重井、中山、津田、滝川、寺内、森本、杉本、福島久保田、林、宮内、長浜、西野、峯田、武中、榎、小西、黒川、工藤、小泉、坂東、吉本、西分、長谷部、東條、奥谷、湯浅、福田、太田、中原、日和田、金沢、飛田、明石、井口、高橋、児島、原田、鎌田、高木、落合、厚美、多田、暮石、川田、岩根、村田、土井、中川、生田、西岡、岩城、仁木、吉岡、沖津、齋藤、秋田、中野、村松、美馬、丸山、鹿児島、奥野、水口、岩瀬、牧岡、和田、野中美容院、山下、福家、前田、藤野、遠藤、小山、ダック引越しセンター、河野、川上、香川、前林、上村、近藤、森田、山田、横野、松下、米澤、関本、蔵本、田浦、河田、播磨、猪児、向井、元渕、吉田、山元、梶村、武市、片山、蔭山、田村、後藤、福住、芽形、杉浦、佐々木、椎野、木元、前川、高田、丹羽、加納、下野、三好、河野、大平、川崎、松村、手城、幸田、三井、榎本、鳥井、木内、小川、田中、木村、須磨、黒田、小林、井内、野口、石山、田所、篠原、門田、若井、金澤、秦、岸、佐藤、北川、榎本、熊井、流、山松、上原、大黒、浅倉、大浦、松浦、飯田、矢部、坂部、迫、下横、宮崎、井筒、中塚、北村、横山、村上、山中、入野、榎原、寺奥、湊、菊原、原、矢野、ナーサリー富田幼稚園、楠、長尾、加統、伊川、菊地、喜多、白木、内田、久米、梶原、濱口、柏岡、大本、大西、湯川、田渕、青笹、竹口、島野、松本、団、柳、竹田、浦川、斎、西、森野、東、藤吉、竹内、鈴江、中村、安岐、谷、大島、山口、山田、梅本、住友、藤村、森、下戸田、真貝、芦田、立川、坂橋、後藤田、岩崎、手塚、藤本、炭田、真弓、

助任小PTA一同、三井、杉岡、一心運輸、折野、清水、福永、濱田、谷本、上地、郡、藤川、久次米、山本、早川、日高、宇原、松田、渡辺、森、池田、青野、渡部、三浦、岸田、猪山、原、大輪、久保、長野、河崎、佐中、白川、池添、塩田、福本、市村、中平、杉井、坂垣、高田、横尾、酒巻、国府町商工会、入野、山野、菅原、(有)水環境システム、伝住、矢上、池本、曾木、藤吉、浜田、一宮、藤岡、野田、丹羽、米田、杉原、立石、七條、井村、青木、安喜、坂田、酒井、ジャソバ、安崎、広島、寺西、和泉、矢川、NPO法人精神保健ボランティアハートとくしまあわっこ、富尾、福井、井添、西分、岡田、阿部、岡本、上窪、加賀、久樹、須原、片岡、豊川、岩森、竹岡、大串、布川、三国、平山、大村、熊川、仲島、日浦、塩本、金本、槇、毛利、呉羽、有馬、万里、須本、福山、真鍋、和渕、安田、秋月、太渕、谷口、正礼、中西、財田、角、吉崎、長町、井出、清家、新居、曾川、地面、宮本、広沢、門田、加藤○小松島市○伊川、向井、井村、地藏寺、湯浅、平井、山岡、近藤、ひのみね養護学校、浅田、渡辺、宮田○北島町○岡本、多田、萩、桑村、中村、濱口、石井、坂野、橋田、橋本、大島、円田、柳原、岩木○藍住町○山本、朝日、國友、河野、福良、中野、三宅、坂口、楠本、岡本、平山、赤石、上崎、二宮、中藤、植村、堀内、国見、高田、久保、池田、阿木、西、渡辺、平野○石井町○松浦、武市、酒井、佐原、原田、近藤、遠藤、勝浦、岡本、長篠、宮本、藤重、吉成、大倉、山本、美馬、田中、中西、木村、野上、泊、兵頭、佐々木、かさい歯科医院、濱口、吉本、富野、与喜多、石井キリスト教会、森野、以西、佐、片山、秋山、元木、大島、赤尾、門條、児島、大石、小田、川田、久米○阿波市○大崎、田浦、中村、笠井、鳴川、尾崎、西内、伊藤、大塚、鶴、川井、岡田、中西、近藤、篠原、瀬尾、森本、稲井○吉野川市○大久保、藤本、森脇、渡部、片山、住友、青木、藤原、阿部、橋本、林、麻植、片岡、田中、早見、中山○鳴門市○大下、濱堀、大江檜原、渡辺、山本、田中、亀井、足田、笠井、木下、若松、国原、NPO法人ふくろうの森、近藤、東、麻植、わけべ、松山、坂東○阿南市○天羽、須原、井浦、稲原、阿南市羽ノ浦消費者協会○上板町○松岡、安芸、松本、世戸、快樂、松浦、フロント峰子、柴田○美波町○吉本○板野町○鴻池、林、高橋、清水、稲井○美馬市○長江、加藤、大西、北岡、須藤、佐藤、岡山、小川○神山町○川内、岡山○つるぎ町○田村○愛媛県○菅原、阿佐、浜田○松茂町○中野、佐藤、松浦○海陽町○神沢、長尾○佐那河内村○富長○三好市○尾本○東京都○本田、高坂○香川県○栗飯原、中野、十河○石川県○井上

原子力空母ロナルドレーガン

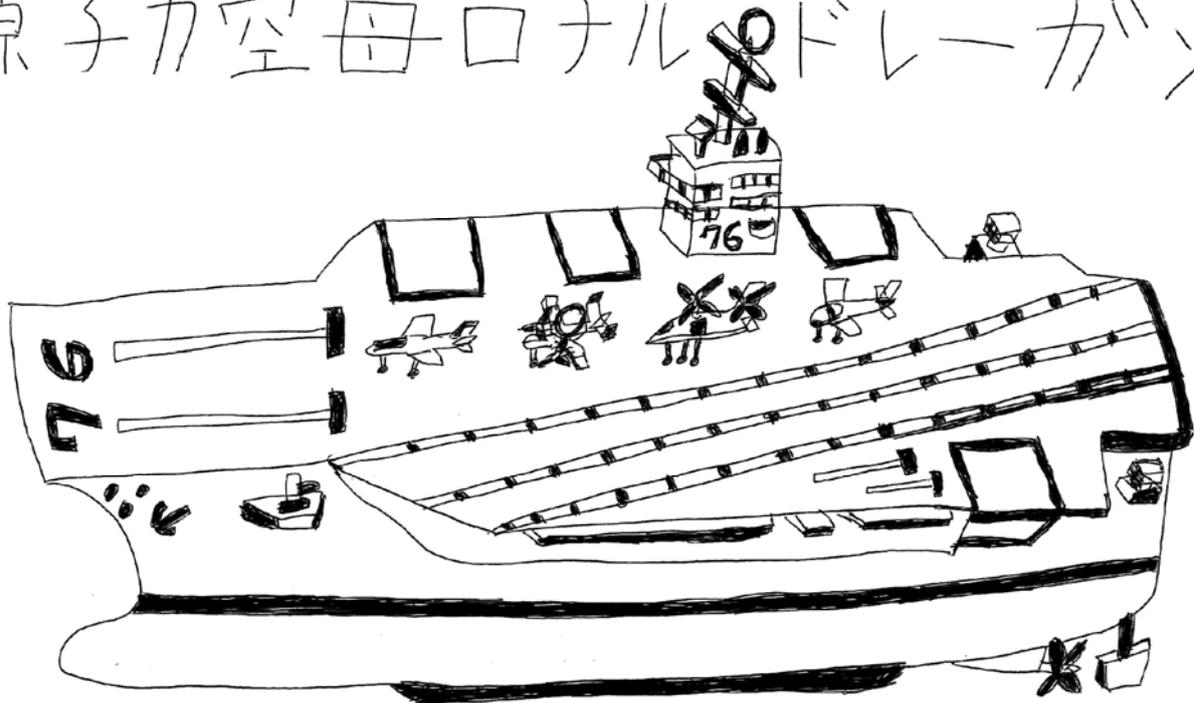


イラスト 藤田さん

編集後記～ありがとう～

太陽と緑の会の運営する2箇所の作業所には、身体、知的、精神など様々なハンディを持ったメンバー25名が、自宅や生活棟などから作業所に通ってきます。

「できること」は一人一人違います。電話で話すことができる人、重い物を運ぶことができる人、品物の選別ができる人、商品を磨くことができる人、値札をつけることができる人、店内の掃除ができる人、お客さんに売場の案内ができる人、レジができる人、など、様々です。

自分が頑張ってもできないことは、できる人に助けてもらいます。

年齢は20才から59才まで、いろいろな世代のメンバーがいることでバランスが生まれます。

「わしも、だいぶ年をとったわ。老体や」と40代前半のメンバーAさんがつぶやくと、最年長のBさんが「ほんなこと言うたら、私はどうなるの」と返します。

「Aさんが老体なら、Bさんは化石？」と20代のCさんの冗談に「こら！（笑）」とBさん。

そのAさん、最近は新館で接客の仕事もしています。

「ちょっと、ショーケースの中の商品を見たいんやけど」

「はい」Aさんが鍵を開けに行きます。「ちょっと兄ちゃん、車の所まで（買った品物を）持って行ってくれへんで。重たいけん」

「はい、分かりました」

レジの所まで行き、お客さんの買われた品物を受け取り、お客さんと一緒に店の外へ出て行きます。

「兄ちゃん、ありがとう」

「ありがとうございました」

営業スマイルを見せるわけではないけれど、お客さんの言葉が心のどこかに届いている瞬間がありました。

誰かから必要とされること、それは、自分の存在を認めてもらうことなのかもしれませぬ。

本年も当会の活動にご支援、ご協力頂きありがとうございました。一昨年皆様のご支援により再建した事務局・作業所兼店舗の新館は、ストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会2008優秀賞、関西エコオフィス奨励賞を頂き、地元のテレビ、新聞等で紹介されるなど、エコハウスとして注目を集めました。中学校、高校等からの職場体験実習や諸団体等からの見学依頼も増えました。

来年も、既存の枠組みからこぼれおちてしまう部分を、微力ながらひとつひとつ拾い上げていきたい、と考えております。

なお本誌をもちまして、新年のご挨拶に代えさせて頂きます。厳しい時代ではありますが、新年もよろしく願い致します。（文責：小山）

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・地域共同作業所とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街作り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延107-1
TEL・FAX 088-643-1054（事務局）
TEL・FAX 088-642-1054

（不用品リユース・地域活動支援センター）

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

編集サポート 岡田 郁子

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。